

福井県立大学図書館「九頭竜川プロジェクト」

「九頭竜川と福井の鉄道—縦断する鉄道と横断する鉄道」

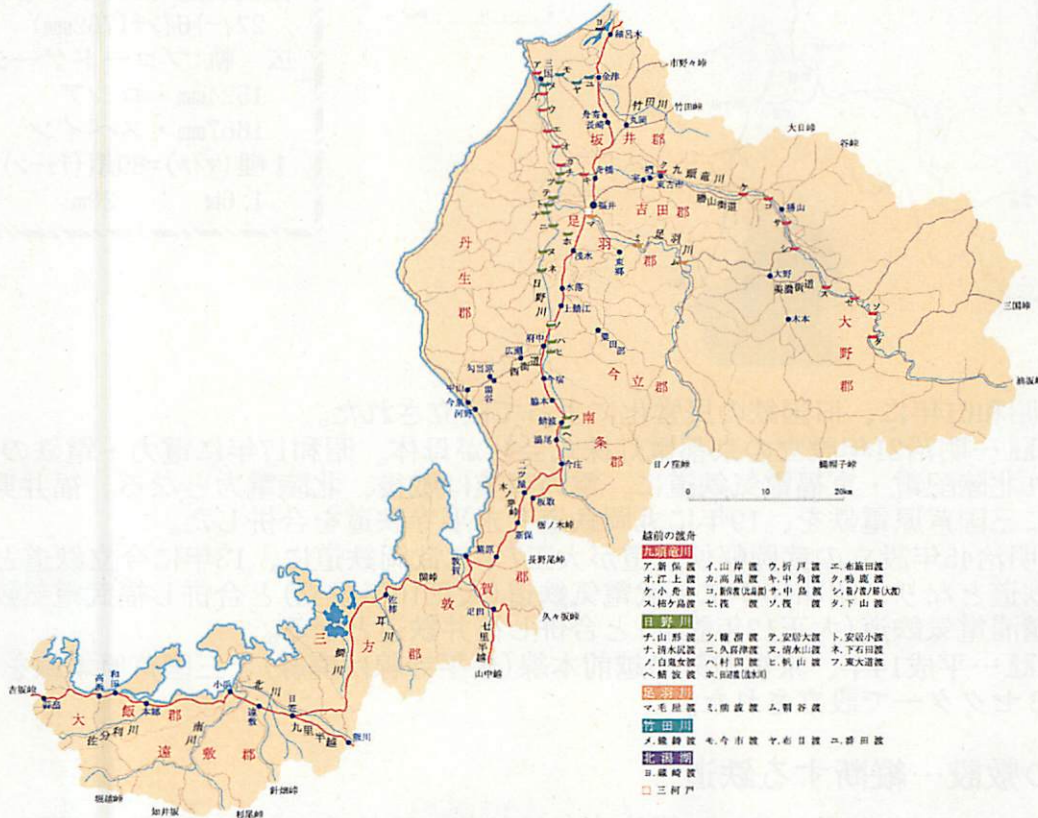
福井工業大学非常勤講師 小谷 正典

10月14日、昨日は「鉄道記念日」

- 縦断する鉄道…滋賀県・福井県・石川県を繋ぐ鉄道…北陸線、明治29(1896)年7月15日
- 横断する鉄道…①奥越の山岳地帯を越えて岐阜県・福井県を繋ぐ鉄道…北陸線開通以降
②県内の小地域を横断し北陸線に繋ぐ鉄道(培養線)…明治末年～大正
- 循環する鉄道…県内の小地域を循環する鉄道(環状線)…明治末年～昭和初年

1 福井県内の街道と渡船場(川舟)…『図説 福井県史』より

北陸道(北国路・北国街道)と若狭道(丹後道・敦賀道)



元号を西暦
に置換
明治+67
大正+11
昭和+25

明治2年1月20日、関所の廃止

明治6年8月2日、「河港道路修築規則」…河川・港湾・道路を三等に

「全国ノ大経脈ヲ通スル」：一等道路…北陸道

「各部ノ経路ヲ大動脈ニ接続スル脇往還枝道」：二等道路…大野道・丹後道・熊川道・丸岡道・坂井港道・粟田部道・春日野道・塩津道

「市街郡村ノ利害ニ関スル」：三等道路

明治9年6月8日、「道路ノ等級ヲ廢シ國道縣道里道ヲ定ム」…国道・県道・里道(各三等)

明治18年1月6日、「国道ノ等級ヲ廢スルノ儀」…44線に(北陸道は福井県庁以南が18号線、以北が19号線)

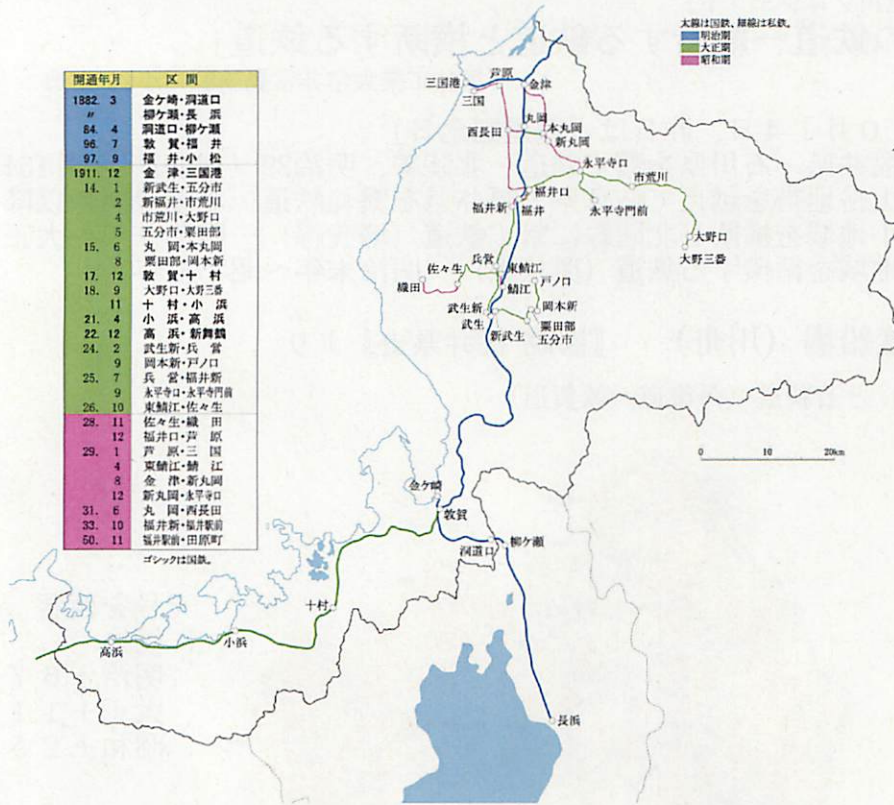
明治4年12月、「治水修路架橋運輸ノ便ヲ興ス者ニ入費税金徴収ヲ許ス」…民力(有志・会社)で土木工事を起こし、経費償還の道銭や橋銭、港銭の徴収を認める

熊坂新道(北陸新道)…明治6・7年頃に丸岡・大聖寺有志が発起、丸岡町・長畝村・中川村・熊坂村・牛の谷村・大聖寺町間に道路開鑿…明治8年5月に「車道修築」許可、9年9月に竣工、10年に道銭徴収認可、11年10月の明治天皇巡幸で新道利用

白川新架橋願(北陸道、丹生郡家久村・今立郡上鯖江村間の日野川横断の舟渡し)…明治6年2月10日に武生町民が発起、7月に着工、11月に落成、橋銭徴収認可

ほかに春日野新道、粟田部街道、海老助橋、中角橋架橋…民力による有償道路・橋梁
舟橋(北陸道、九頭竜川横断)…官費架橋、明治8年2月に許可、6月に起工、9月に竣工、10年4月に流出、11年5月に再架

2 福井県内の鉄道…『図説 福井県史』より



軌間（ゲージ）など

火輪：橋本左内
 標準軌：欧米の標準
 47フィート8.5インチ(1435mm)
 新幹線・関西の私鉄
 地下鉄
 狭軌：ナローゲージ
 37フィート6インチ(1067mm)
 軽便鉄道：1067以下も可
 27フィート6インチ(762mm)
 広軌：ブロードゲージ
 1524mm・ロシア
 1667mm・スペイン
 1哩(マイル)=80鎖(チェーン)
 1.6km 20m

JR西日本…昭和61年に、旧国鉄の民営化によって設立された。

京福電気鉄道KK…明治21年設立の京都電灯株式会社が母体。昭和17年に電力・電鉄の両事業に分かれ北陸配電・京福電気鉄道に。電力事業は戦後、北陸電力となる。福井県内では、同年に三国芦原電鉄を、19年に丸岡鉄道と永平寺鉄道を合併した。

福井鉄道KK…明治45年設立の武岡軽便鉄道が大正7年に武岡鉄道に、13年に今立鉄道と合併して南越鉄道となり、昭和16年に福武電気鉄道(大正10年設立)と合併し福武電気鉄道に、20年に鯖浦電気鉄道(大正12年設立)と合併し福井鉄道となる。

えちぜん鉄道KK…平成14年、京福電鉄の越前本線(永平寺線は廃線)と三国芦原本線を受け継ぎ、第3セクターで設立された。

3 北陸線の敷設…縦断する鉄道

明治2年11月10日(1869年12月12日)…明治政府が東京・西京(→大阪・神戸に)間に鉄道

敷設計画、東京・横浜間、琵琶湖・敦賀間に支(枝)線の敷設計画

3年1月…京都府が越前敦賀・若狭小浜などより京都への鉄道敷設計画

4年7月14日…廃藩置県

3年~9年…京都・敦賀間の測量

5年9月12日…東京(新橋)・横浜間開通

5年12月3日=明治6年1月1日(太陽暦を採用)

6年1月14日…越前・若狭両国で福井県に

8年8月21日…福井県は石川・滋賀両県に

14年2月7日…福井県が設置

17年4月16日(←13年4月、長浜・敦賀から着工)

金ヶ崎・長浜間全線開業←柳ヶ瀬隧道(1352m)完成

旅客・貨物各3往復、所要時間2時間36分 片道40銭

14年8月…東北鉄道会社設立(資本金450万円)

北陸の元藩主と東西両本願寺門主が発起(華族)

第1期：近江柳ヶ瀬~越中富山(能登七尾へ支線)

第2期：長浜~伊勢四日市、富山~越後柏崎

第3期：柏崎~越後新潟

京都・敦賀間の交通

北海(船運)→敦賀・塩津→

琵琶湖(船運)→大津・京都

↓

北海(船運)→敦賀・塩津・米

原・大津・京都

日本鉄道会社

明治14年~39年

資本金：2000万円

10年代：米1石=1円

問題点：越前南部山岳地帯(木の芽嶺)に敷設する技術と敷設資金の集金

工事手順：福井←坂井港(4～22年の町名)を起点→大聖寺一金沢一富山

工部省鉄道局長井上勝の構想：一(海路)一伏木港一(鉄道)一坂井港一(海路)一敦賀港一(鉄道)一

*13年、オランダ人御雇技師エッセルら、坂井港の防波堤を竣工

*16年、芦原温泉が開湯

15年12月…石川・福井両県令に対し政府内達…路線：福井一坂井港一金沢一伏木

16年3月…福井県の華族が發起人を辞任(←政府内達)

「私共越前人民ノ最熱望スル南方・嶺ヲ洞開セザルノ工事」

16年5月…前田利嗣ら、再願書を提出…路線：福井一坂井港一金沢一伏木港一富山

17年4月…東北鉄道会社計画挫折

「近來流行ノ鉄道病」

(井上勝鉄道局長官：「鉄道之父」)

18年～25年…50件の私設鉄道会社出願(実際の開業は12社)

20年5月…『私設鉄道条例』の制定(→33年『私設鉄道法』)

「仮免状」(創立願など)と「本免状」(図面・工事方法、工事予算など)の2

段階審査、

運賃認可制：1哩1銭5厘以下

軌間1067mm(官設と同じ)

25年後には国に買収権

21年6月30日…『私設北陸鉄道創立願書』提出(資本金450万円)

發起株主：富山21人(全員平民)・石川19人(平民12士族6)・福井12人(平民7士族4)・東京1人・大阪1人

資本金額：富山県約36万円(33%)、石川県約31万円(29%)、福井県18万円(17%)、その他(21%)

第1期：坂井港一金沢一富山 第2期：坂井港一福井一敦賀 第3期(支線)津幡一七尾

北陸鉄道創立事務所は金沢市・同福井支部は福井県会議事堂内
鉄道局長井上勝は“孤立・短小”の鉄道の切り売りに反対…平坦部分だけでは孤立した鉄道となり利用が完全でなく、敦賀より延長し官設鉄道につなぐことが必要

22年7月1日…東海道線が全通

22年12月…『北陸鉄道布設ノ義ニツ付追願』(武生敦賀間測量の許可願)

〃12月9日…『仮免状』を下付

路線：本線…越中富山・加賀金沢・越前坂井港・福井・鯖江・武生・敦賀、

支線…越中守山・伏木

23年…丸岡町『北陸鉄道布設路線に係る丸岡町有志の意見書』

路線：一大聖寺一牛ノ谷一前谷一後山一丸岡東方一末政一磯部福所一丸山一福井勝見一鯖江一武生一

*この頃より、官設の目論見が出る

24年3月…福井市内測量開始→11月19日

…北陸鉄道廃止の届出

〃11月…福井県会『北陸鉄道ノ官設ヲ請フ建議』決議←巨額の資金の募集難

25年6月…『鉄道敷設法』の制定

北陸線の官設決定

25年12月～26年3月

第1回鉄道会議が開催

4年9月：鉄道寮設置

10年1月：鉄道局設置

18年12月：「内閣制度」創設

14～18年：不景気(松方デフレ)

19～22年：好景気(企業勃興期)

22年2月：『帝国憲法』制定

〃4月：「市制町村制」施行

23年：不景気、

5月：「郡制」施行

〃11月：帝国議会開設

22年7月1日：東海道線が全通

23年9月：鉄道庁設置

『軌道条例』の制定…道路上の鉄道

24年7月：「鉄道政略ニ関スル義」を建議、鉄道庁長官井上勝

…幹線・軍用線の官設鉄道網の完成と私設鉄道の国有化

24年11月：『鉄道公債法案』『私設鉄道買収法案』…敦賀・富山間の官設など→否決

25年6月：『鉄道敷設法』の制定…幹線鉄道官設主義 第1期に中央線・山陽線・北陸線など9線、他24線

33年3月：『私設鉄道法』の制定

39年3月：『鉄道国有法』の制定

幹線鉄道は官設官営、17社買収、32→91%、地方鉄道は私設鉄道

41年12月：鉄道院設置

2月10日、北陸線の審議…敦賀・杉津・今庄・鯖波・武生・鯖江・大土呂・福井・森田・金津・大聖寺…敦賀・今庄間に12ヶ所の隧道 総工費720万6000余円 *三国(坂井港)への“迂回”論議

26年4月…北陸線敷設工事着工、

12月…三国町『鉄道北陸福井森田大聖寺間線路再確定ノ件ニ係ル建議』

27年3月…金津町鉄道既定線期成同盟会『既定線路敷設の建議書』

6月…『北陸鉄道ノ森田若クハ金津ヨリ分岐シ三国港ニ至ル支線調査ノ建議書』→北陸線の敷設後に必要があれば「支線ヲ敷設スルモ宜イ」

27年8月…福井商業会議所(全国商業会議所連合会で)『鉄道北陸線中森田大聖寺間線路再確定建議の件』(森田より三国吉崎を経て大聖寺に達する線路への変更)

27年8月～28年4月…日清戦争

28年11月森田・今庄間竣工・試運転

この頃、今立郡下河端付近で路線変更運動、さらに停車場設置運動(北鯖江駅、昭和30年)

29年7月15日…敦賀一福井間開通→30年9月小松開通、31年4月金沢、32年3月富山、大正2年4月1日直江津(米原一直江津間全通)(北陸線は敦賀以北)

30年9月13日…小浜鉄道に『仮免状』を下付(←28年10月31日、小浜鉄道が小浜町・今津町間に鉄道敷設出願、そののち熊川村・敦賀町間、小浜町・余部村間が追加出願)→33年7月12日、『仮免状』返納

*若狭地方の鉄道

27年 江若鉄道…大津→今津→熊川→小浜(→舞鶴):近若鉄道→小浜鉄道に改称

28年 若狭鉄道…熊川→敦賀:小浜鉄道に合併

小浜鉄道…大津→今津→熊川→井ノ口→小浜→舞鶴、井ノ口→敦賀

京北鉄道…京都→大津→海津→敦賀→常宮

31年11月…福井県会『北陸鉄道支線敷設ノ義ニ付建議』(三国への支線敷設)

39年3月…『鉄道国有法』制定…幹線鉄道官営主義

移設鉄道は全国37社5231km→17社の買収…(私設鉄道は20社717kmに)

第一条 一般運送ノ用ニ供スル鉄道ハ総テ国ノ所有トス 但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鉄道ハ此ノ限ニ在ラス

42年…北陸線三国支線敷設予算可決(政友会杉田定一ら)(北陸線は米原以北)

44年12月25日…三国支線開通→大正3年7月…三国港まで開通

45年3月…敦賀。新舞鶴間に官設鉄道の敷設決定

大正7年11月10日…敦賀・小浜間の小浜線開通→11年12月20日、新舞鶴まで全通

4 福井県、明治28・29年の鉄道敷設計画…横断する鉄道

28年

◎越前電気鉄道…大野→勝山→福井→三国

29年

◎金城鉄道…名古屋→油坂峠→大野→勝山→谷峠→石川県白峯→鶴来→金沢

◎三国鉄道…福井→三国→金津

◎福井鉄道…勝山→松岡→福井→三国

◎三国鉄道…大野→境寺→篠尾→福井→三国→吉崎→石川県大聖寺

◎大聖寺鉄道…吉崎→石川県大聖寺→山中温泉

◎濃越鉄道…三国→丸岡→勝山→大野→縄帽子峠→岐阜県大垣→三重県四日市

◎越前鉄道…三国→金津→丸岡→鳴鹿→勝山

◎濃越鉄道…岐阜県脛永→大野→勝山→古市→丸岡→新庄→三国、古市→福井

*鉄道敷設ブーム

明治18年～25年…第1次鉄道ブーム 明治29年～30年…第2次鉄道ブーム

明治44年～大正4年…第3次鉄道ブーム 大正8年～昭和5年…第4次鉄道ブーム

5 横断する鉄道・循環する鉄道の敷設…軽便鉄道・電気鉄道など

a 明治28年…越前電気鉄道の敷設計画←北陸鉄道の発起人が参加

滝波川に水力発電所を設置
 33年3月…『私設鉄道法』の制定
 34年：越前鉄道株式会社に仮免状が下付
 資本金60万円、蒸気鉄道
 路線：大野一遅羽村一福井、36年失効
 37年2月～38年9月：日露戦争
 39年3月…『鉄道国有法』の制定
 41年：福井県議会で福井一大野間の電気
 鉄道計画に速成補助を決定…軌道条例で
 の計画には陸軍省の反対
 43年4月：『軽便鉄道法』（8条）制定
 『私設鉄道法』（98条）は厳しい条件
 一般運送用鉄道、個人出願、出願簡素化
 官設の1067mmでなくてよい
 第一条 軽便鉄道ヲ敷設シ一般運送ノ用
 ニ供セムトスル者ハ左ノ書類及図
 面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受ク
 ヘシ
 一起業目論見書 二線路予測図
 三敷設費用の概算
 四運送営業ノ収支概算書

東京電灯会社…明治19年開業	
帝国電灯会社福井支社（福井市）	
明治23年設立	
福井市の伊東練工場に発電機設置	
明治27年	
面谷鉦山に三菱合資会社が水力発電所	
明治31年	
京都電灯株式会社宿布発電所	
明治32年5月21日	80キロワット
京都電灯株式会社中尾水力発電所	
明治41年7月	800キロワット
越前電気株式会社持越発電所	
明治42年8月	250キロワット
明治44年3月：『電気事業法』制定	
三国電灯株式会社汐見火力発電所	
明治44年4月	
京都電灯株式会社小和清水水力発電所	
明治44年11月	900キロワット

44年3月：『軽便鉄道補助法』の制定し軽便鉄道の利益保障（5→10年間は建設費
 に対する利益率5%以上を補助）
 目的：産業革命推進と官営鉄道培養線
 大正2年には、全国27社が開業（電車4、蒸気23）
 軽便鉄道の出資者

- ①沿線地域社会の住民…主力（町・村ぐるみの零細株主、沿線の大地主、名望家、
 資産家など）
- ②沿線地域社会の出身者（資産家など）
- ③沿線地域社会と何らか
 の取引、利害関係を持つ者
- ④沿線地域社会と利害関係のない「投資家」

b 越前電気鉄道と越美線（濃越鉄道、官設鉄道）

明治43年8月：越前電気鉄道の敷設出願（当初は軌道条例、次いで軽便鉄道法）
 10月…免許状下付、大正元年12月…着工、福井・勝山・大野間
 当初の起点は、福井市北東の志比口近辺であったが一端変更の後、原案の清川上町
 になり、さらに南方で福井駅への接続可能な地点に延長（新福井駅）
 北陸初の電気鉄道、1067mm、資本金43万円←京都電灯株式会社
 京都電灯の嶺北一帯への電鉄敷設構想
 路線：福井一芦原一三国間、三国一吉崎一大聖寺一山中温泉間、武生一鯖江一
 36連隊一福井間+三国への連絡線、栗田部一武生一四箇浦
 *福井・鯖江・武生間は、幹線の北陸線と併行線
 *明治30年に、神明村・立待村に第9師団歩兵第36連隊の設置

大正3年2月…新福井一市荒川間開通、同年3月…勝山まで開通、同年4月…大野口ま
 で開通、1日13往復・片道2時間26分
 大正7年9月大野三番まで開通、昭和4年9月福井駅乗り入れ、10月福井駅東口
 鉄道のない足羽郡住民の鉄道敷設への期待と、越前電鉄だけでは、大野郡から搬出さ
 れる貨物をさばききれず「倍賃金を支払ひて尚抽籤を以て漸く搬出せらるる有様に
 して貨物停滞し荷主の損害少なからず荷主の不平は近来は甚だし」

大正7年10月…南越電気鉄道株式会社 当初は資本金100万円の軽便鉄道
 福井市一（羽生街道）一大野町間に電鉄敷設計画 貨物輸送中心
 路線：福井市一足羽川左岸（和田・酒生村）一下宇坂村一芦見村一羽生村一大野町
 路線：福井市一和田村一酒生村一足羽川右岸一下宇坂村市波一足羽川左岸一上宇
 坂村境寺一羽生村一大野町
 路線：福井市一和田村一足羽川右岸一東郷村一一乗谷村一下宇坂村市波一足羽川
 左岸一上宇坂村境寺一羽生村一大野町

大正8年2月…衆議院「濃越鉄道速成ニ関スル決議」→9年2月…帝国議会通過
 9年度より18年度の10ヶ年継続事業 国防・林産・鉱産・蚕業など
 路線：美濃太田駅一八幡町一（油阪峠）一大野町一（羽生・勝山街道）一福井駅

羽生街道：濃越鉄道速成同盟会…大野・今立・足羽3郡…足羽川左岸(酒生村)対足羽川右岸(東郷村)←大正13年今立鉄道の戸ノ口駅より北上して接続
 勝山街道：濃越鉄道期成同盟会…勝山町・福井市松本・吉田郡←越前電鉄の国有化が基礎にあるが、再敷設が必要、停車場が多い電鉄の方に利便性有り
 大正11年越美南線着工(昭和9年北濃まで開通)
 昭和11年越美北線着工(路床)、28年再着工、47年福井駅・九頭竜湖間開通
 大正15年2月…越美電気鉄道株式会社 大野町三番一庄村中荒井一富田村上麻生島一蕨生一五箇村勝原
 大正15年3月…金津駅一丸岡町一勝山町一大野町三番駅→濃越鉄道に接続予定

c 武岡軽便鉄道

明治44年4月：武岡軽便鉄道株式会社の敷設出願(←武岡軌道株式会社←武栗電気鉄道株式会社)

武浦軽便鉄道……………43年11月、宮崎村江波の谷野泰蔵、資本金25万円
 路線：武生町一神山村高瀬一大虫村上大虫一白山村安養寺一織田村織田一四箇浦村梅浦

路線：武生町一大虫村下太田一宮崎村檜津一織田村織田一四箇浦村

路線：武生町一高瀬一上大虫一安養寺一宮崎村小曾原一四箇浦村厨一梅浦

武西軽便鉄道株式会社……44年8月、武生町一大虫村一小曾原一織田一四箇浦(←梅浦軽便鉄道)、大正元年8月…却下→武岡軽便鉄道の延長線計画に吸収

鯖粟電気鉄道株式会社……44年3月、国高村稻寄の森広三郎ら、資本金15万円

路線：鯖江町一中河村中野一(三里山北麓)一北中山村松成一同村落井一同村戸ノ口一河田口一南中山村野岡一粟田部村一岡本村、44年9月…却下→武岡軽便鉄道の分岐線計画に吸収

武鯖粟電気鉄道株式会社…東忠蔵南条郡長が武生町一鯖江町一三里山北麓一粟田部村一三里山南麓一武生町の環状電気鉄道

蒸気鉄道、762mm(←1067mm)、資本金10万円、武生町の三田村甚三郎ら国高線(武生町一国高村一北新庄村一粟田部村一岡本村定友)と北日野線(武生町一北日野村一味真野村一岡本村五箇)の両計画→国高線に決定、大正元年9月…味真野村・五分市方面に迂回の路線変更

明治44年9月…免許状下付、大正2年5月…着工

大正3年1月新武生一五分市間開通、北陸線に接続、5月五分市一粟田部間開通、4年8月粟田部一岡本新間開通、7年3月武岡鉄道に改称、13年今立鉄道(10年11月、資本金40万円、蒸気鉄道、岡本新一粟田部村一南中山村一北中山村一中河村一新横江村一北陸線鯖江駅間を計画)を合併し南越鉄道に改称、9月岡本新一戸ノ口間開通

大正元年11月…国高村村国の停車場→鯖江町→歩兵36連隊兵営への延長線計画

大正元年12月…武生町→朝日村西田中→織田村織田→四箇浦村への分岐線計画

大正10年春…武西電気鉄道、武生町→朝日村西田中への敷設計画

大正12年6月…鯖浦電気鉄道の敷設認可 昭和3年11月…織田まで開通、4年1月…北陸線鯖江駅乗り入れ

大正13年9月…南越鉄道の戸ノ口駅より北上して濃越鉄道(越美線)に接続

大正14・15年…鯖大線の計画

大正14年2月…鯖江駅一中河村一北中山村一服間村一上池田村水海一大野郡西谷村一(温見峠)一岐阜県根尾村大河原一大垣・金沢の予定線接続

大正15年2月…鯖江駅一武生町一南越鉄道一南中山村野岡駅一服間村一(温見峠)一岐阜県根尾村大河原一大垣・金沢の予定線接続

d 丸岡軽便鉄道

大正2年4月：丸岡軽便鉄道の敷設出願(福丸軽便鉄道、丸岡一森田一福井の電気鉄道)

蒸気鉄道、762mm、資本金5万円、丸岡町…小原宗太郎(委員長)・杉本千代吉

路線：高椋村西里丸岡一東十郷村田島窪一同村田島一新庄丸岡駅→田島川筋の低地のため、一本田と一本田中の中間を西進し舟寄出村の西南を通り福島から官線に
 第二期線：坂井郡横断し川西方面へ・永平寺方面へ

4年6月上新庄一本丸岡間開通、昭和5年5月上新庄一本丸岡間電化(1067mm)、10月北陸線丸岡駅乗り入れ、6年6月西長田まで開通、三国芦原電鉄に接続(第二期線、川西方面)

大正11年5月…北陸線丸岡駅—春江村—布施田橋間の電気鉄道敷設計画
 大正11年7月…福井郊外電車が、福井市—森田村—丸岡町—金津町、森田村—春江町—
 江留上間の電鉄敷設計画
 大正13年6月…永平寺電気鉄道の敷設認可、14年9月…永平寺門前から越前電鉄に接
 続、昭和8年4月…金津—新丸岡間開通、12月全線開通

大正3年7月～7年11月：第一次世界大戦

大戦景気(成金景気)→ 鉄道輸送量の激増・鉄道経営の高収益
 7年9月…原敬政友会内閣成立(本格的政党内閣) →10年11月…高橋是清内閣
 8年4月：『地方鉄道法』の制定
 第一条 本法ハ軌道法ニ規定スルモノヲ除クノ外道府県其ノ他ノ公共団体又ハ私人
 カ公衆ノ用ニ供スル為敷設スル地方鉄道ニ之ヲ適用ス
 大正8年～昭和5年…第4次鉄道ブーム…電気鉄道、都市郊外鉄道(産業、観光)
 11年4月：『改正鉄道敷設法』の制定…地方路線をすべて予定線(149路線)、立憲
 政友会の「我田引鉄」政策

e 三国芦原電気鉄道…都市内連絡、都市間および観光

大正8年6月：加越電気鉄道株式会社が敷設出願

1067mm、資本金300万円

路線：

地方電車線…福井線(福井—春江—木部—
 三国)、大聖寺線(三国—芦原—吉
 崎—大聖寺)

福井市街線(地方線連絡—呉服町通—本
 町通—福井駅前—志比口—松本通)

*12年自然消滅

地方電車線は吉崎電気鉄道株式会社に
 福井市街線は福井電気軌道株式会社に
 吉崎電鉄：資本金250万円

路線：福井線(三国—芦原—本荘—大
 関—兵庫—大石—布施田—春江—
 河合—西藤島—円山西—越前電鉄の
 福井口駅)、大聖寺線(芦原—吉崎—
 大聖寺—三木)

のち、福井高等工業学校(西福井)か
 ら越前電鉄福井口駅の接続に変更

福井電気軌道…資本金200万円、福井市街線を踏襲、4支線を計画

15年12月：福井電気鉄道株式会社を設立、福井市郊外環状電気鉄道の敷設を出願

1067mm、電気鉄道、資本金100万円

路線：西福井—西別院—志比口—土場—福井駅—勝見口—木田停車場(福井新付
 近)—寿口—立矢—明里—東別院

*昭和2年11月却下、4年5月福武電鉄が福井駅前から簸川町へ、6年5月福井電鉄株
 式会社を設立し福武電鉄花堂駅から小山谷・西福井へ、

*昭和5年、丸越電気鉄道株式会社(資本金100万円)と丸越軌道株式会社
 (資本金22万円)が丸岡—高棕—磯部—森田—中藤島—円山西—福井市老松
 下町—江戸上町—宝永中町—福井駅

昭和2年3月：吉崎電気鉄道に三国(のち雄島)・福井間の敷設工事施行認可(芦原・福
 井間は芦原街道に沿い牧ノ島から西別院裏を通り福井口で越前電鉄に接続)

3月…三国芦原電鉄株式会社(京都電灯経営)に変更、昭和3年12月福井口—芦原間
 開通、4年1月芦原—三国間開通、7年5月三国—東尋坊口間開通

*芦原—大聖寺間は、大正15年に吉崎鉄道株式会社が設立され、昭和3年に芦原—
 吉崎—大聖寺間の工事施行認可が下りたが敷設されなかった。

*西長田より鷹巣村に至る川西線、芦原から金津に至る路線を計画

*福井高等工業学校は大正13年開校 *永平寺大遠忌は昭和5年

“建主改従”積極的鉄道政策

8年4月：『地方鉄道法』制定
 ←『私設鉄道法』『軽便鉄道法』

9年5月：鉄道省設置

10年3月：『地方鉄道補助法』改正
 //4月：『軌道法』制定←『軌道
 条例』

11年4月：『改正鉄道敷設法』制定
 私有鉄道

大正4年…4379km→9年…5335km
 →14年…7445km→昭和5年…946
 0km

福井県の私有鉄道

大正9年： 50.8km
 //14年： 72.9km
 昭和5年：140.6km

f 福武電気鉄道…都市間および軍隊との連絡鉄道

大正8年…神明村の野尻弥重郎らと武岡軽便鉄道の加藤覚太郎らの競願→協調

発起人総代：野尻弥重郎 資本金150万円(→200万円)

発起人引受株：今立郡15名(鯖江町8名)、武生町9名、丹生郡4名、足羽郡4名
福井市6名…今立・南条・丹生3郡沿線各村の地主・資産家らによる発起

軌間：1067mm 電気鉄道 19.2km

路線：武生町→鯖江町→神明村→歩兵第36連隊前(兵営前)→麻生津村→福井市
武周電力(丹生郡朝日村西田中)より電力供給

大正9年11月：福武電気鉄道株式会社創立認可

取締役社長：加藤覚太郎 専務取締役：野尻弥重郎

13年2月…武生新・兵営間開通、14年7月福井新まで開通

昭和2年10月：福井市街延長線敷設認可、5年10月幸橋竣工、8年10月福井駅まで開通、
北陸線連絡、

昭和16年7月：南越鉄道と福武電気鉄道が合併し福武電気鉄道株式会社

昭和20年8月：鯖浦電気鉄道と合併し福井鉄道株式会社(福武線、南越線)

昭和25年11月：三国芦原線田原町駅まで延長敷設…福井市内環状線計画の名残

g 鯖浦電気鉄道…産業鉄道および住民の生活鉄道

大正12年4月：鯖江町の福島文右衛門らが今立郡鯖江町と丹生郡四箇浦村間に電気鉄道敷
設計画

大正12年6月：鯖浦電気鉄道創立認可 資本金80万円 軌間1067mm

取締役社長：福島文右衛門 常務取締役：一色寿 専務取締役：川上宗二

越前電気株式会社(今立郡新横江村東鯖江)より電力供給

大正15年10月…東鯖江・佐々生間開通 昭和3年11月織田まで開通→織田以西四箇浦村梅
浦までは鯖浦自動車が運行

昭和4年4月…北陸線鯖江駅乗り入れ

昭和20年8月…福武電気鉄道と合併し福井鉄道株式会社(鯖浦線)

<主な参考文献>

『福井県史 通史編5 近現代一』(福井県、平成6年)

拙稿「一九二〇年代の電気鉄道敷設計画—福井市の都市構造の変質と環状線敷設構想—」(『福井県史
研究』第2号、昭和60年)、「福井県における北陸線敷設運動の展開(一)—敦賀・長浜間の鉄道敷
設と東北鉄道会社の設立—」(『福井県史研究』第7号、平成2年)、「福井県における北陸線敷設
運動の展開(二)—北陸鉄道会社・「鉄道敷設法」と北陸線の敷設—」(『福井県史研究』第15号、
平成9年)、「福井県における軽便鉄道の敷設—鯖江・武生地方を中心として—」(『福井県史研
究』第12号、平成6年)、「大正後期、鯖江町・武生町東部地方の鉄道敷設について」(『会誌』鯖
江市郷土史懇談会、No.7、1999年)、「越前・美濃間の鉄道敷設運動—“第四次鉄道ブーム”期を
中心に—」(『若越郷土研究』46の5、平成13年)、「日本における近代的鉄道政策の樹立—1880年
代の鉄道政策と北陸地方の鉄道敷設計画—」(『福井県文書館研究紀要』第9号、2012年)

--- m e m o ---